

	HSK みなづき 水無月号 NO.127 2011.6.10号 Advocate	1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号471号 発行/2011年6月10日 編集者/我妻 武 住所/〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323 H P http://npolife.net/ 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会 定 価/100円

ライフの総会を終えて

～新たな旅立ちのスタートライン～

理事 佐々木 泰彦

蒸し暑い5月の終わりに、大勢のライフ関係者にお集まり頂き、滞りなく総会を終えることができましたことに、まずお礼申し上げます。

総会の参加者やライフのスタッフを見ていると、いろいろな事が浮かんで消え、消えてはまた浮かび、頭の中でその形を変えながら過去と現在が複雑に交じり合っていました。

この20年の間に関わりをもってきた人達や、いろいろな事情により、ライフを離れて行った人達も含め、随分多くの人に支えられここまで来たのだということに対する感謝の気持ちと、人との出会いによってライフの歴史は刻まれていくのだとつくづく感じました。

さて、21年目のライフは、新たな人との出会いの場を求めて大きく変わろうとしています。

春には、厚別リユースプラザと発寒工房を札幌市から業務委託され、夏には、中央区の星園高校跡に業務の一部を移転します。それに伴い、職種の一部統合整備や介護部門の充実等、ある意味今年のライフは、新たなスタートラインに立とうとしています。

他方、障害者の高齢化も進みつつあり、当面の問題になってくると思われまます。彼等の生活環境の整備も含め、仲間としてどう支え合いました、対処していくのか、このこともまた新たな始まりです。

人間は、破壊と創生を繰り返しながら歩いていく生物であるならば、旧態依然とした状況の中に身を委ねるのではなく、何かを求めていこうとする時、大いなる勇気と少しの不安があればいいと思う。

何れにしろ、今年から来年にかけてが、ライフの正念場になることは間違いのないと思います。

どうかこれからも、暖かい目で見守って頂き、ライフの応援を宜しくお願い致します。



あいさつに立つ深澤理事長



総会の参加者は熱を帯びていた

第 1 号議案

特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ
2010年度事業活動報告

—はじめに—

3月11日に発生した東日本大震災とその後の福島原発事故は、多くの犠牲者を出す未曾有の状況が続いています。とりわけ災害弱者と言われる障害者等の現状はまだまだ悲惨なものであります。亡くなられた皆さんのご冥福を祈ると共に、これからも継続的支援を行っていく事を確認したいと思います。

同時に、この大震災によって様々な困難を抱える人々が拡大し、共同連が掲げる社会的事業所づくりが極めて重要な緊急課題であります。ライフの総力を挙げて、社会的事業所制度の法制化を実現させていくための活動をしていきたいと思ひます。

—全体の取り組みとして—

NPOライフ設立10周年の節目を迎えた2010年度は、障害当事者をはじめスタッフ、理事会一体となった取り組みによって、無事に活動を進める事が出来ました。

大きな取り組みとしては、2月に札幌市の委託事業であるリサイクルプラザ発寒工房、リユースプラザ運営管理事業を一般競争入札で落札したことであります。この事業は、リサイクル・リユースという環境事業と障害者等の雇用という、ライフの目指す社会的事業所の性格をもち合わせたものであります。一般競争入札という価格競争での落札により、委託費はかなり低額のものになりましたが、社会的雇用を生み出していくという理念を実現するために、理事会として大きな判断をしました。

障害者雇用では、2名増の20名となり、非雇用の給料も平均20,000円を超える事が出来ました。

組織全体としては、3月末でメンバー62名、職員32名、契約スタッフ(ヘルパー等)14名、理事会8名の計116名の体制です。事業費も2億円を超える組織になっています。

しかし、一方では、共働事業所のさだめでもありますが、予算に占める人件費比率の増大は、経営安定化にむけての大きな難題でもあります。固定経費となる人件費は、売上増=収益増を前提としたものであり、収益ダウンの中での賃金の配分方法については、全体の議論の中で方向性を決めていく必要があります。そして、共働事業所で共に働くことの意味が充分スタッフ、メンバーに浸透していないことも課題です。

また、「働く」ことについての全体議論を進めることが重要であることを感じています。新しく雇用の場が確保できても、メンバー自身の気持ちが就労に向かない事が度々発生しています。それは、ライフの理念の合意方法や働く事へのイメージを充分提示できていない事に起因しているのかもしれませんが、また、スタッフの意識にもかかわるし、福祉的就労場が抱える問題点であると思ひます。

これらの課題は、引き続き次年度で解決する方向性を探していきたいと思ひます。

— 1. 事業活動について —

- ・収益事業は、長引く不況の中にあつて、全体として売上増となりました。この要因は、統一地方選挙の年という事もあつて、印刷関係やポスティング等の事業収益や、新規事業として取り組んだ清掃委託業務や食堂経営の成果としていえます。その結果、B型のメンバー工賃は、前年に比べ倍額となった事は大きな成果として言えます。また、障害者雇用については、たねや、ひだまりから3名の雇用を作りだしました。
- ・また、NPO設立10周年祝賀会は、約200名の参加で成功裡に終える事が出来ました。
- ・8月28日、29日に開催された共同連宮城大会には、総勢15名で参加し、初めての船旅で有意義な大会参加となりました。同時に、社会的事業所研修会などを積極的に開催し、1月29日には上田札幌市長含め200名近くの参加者があり、社会的困難を抱える人々との共働を広めていく事が出来ました。
- ・生きる場については、共同住居を東苗穂から西区八軒に移動し、現在ショート利用含め4名で稼働しています。住居スペースが狭いため、また高齢化や障害の重度化に伴い、共同住居を望むメンバーが増え、新規の共同住居作りが求められています。
- ・その他として、各種団体のライフ職場見学希望やライフの取り組みについての講師依頼が増える。

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

特定非営利活動法人札幌・障害者支援活動センター ライフ		(単位:円)	
科目	金額		
(資金収支の部)			
I 経常収入			
1 事業収入			
本部	953,318		
もしや	31,974,077		
たねや	1,703,093		
ひだまり	5,715,968		
キッチンひだまり	3,529,440		
編結	0		
さほりや	3,856,919		
Cafe du Kilobita	8,175,946		
元気ジョブ	-1,895,689	57,806,410	
2 補助金・助成金収入			
本部	0		
もしや	10,133,325		
たねや	76,760		
ひだまり	67,800		
編結	4,710,777		
さほりや	12,892,580		
Cafe du Kilobita	0		
元気ジョブ	21,629,000	49,510,242	
3 訓練・福祉給付費等収入			
もしや	10,294,662		
たねや	24,345,743		
ひだまり	15,896,242		
編結	-41,893,783	92,590,430	
4 維持会員・賛同会員会費収入		856,560	
5 賛助金・寄付金収入		640,655	
6 受取利息		1,256	
7 受取配当金		400	
8 雑収入		142,228	
経常収入合計			201,488,180
II 経常支出			
1 貸付支援事業費			
仕入高(売上原価)	12,191,266		
工賃及び賃金	27,455,213		
業務委託費・外注費等	16,702,029		
その他事業費	3,966,314	60,214,822	
2 事業費			
もしや	20,302,905		
たねや	14,199,417		
ひだまり	14,389,193		
キッチンひだまり	215,600		
編結	39,312,667		
さほりや	10,467,443		
Cafe du Kilobita	2,589,237		
元気ジョブ	92,019,774	123,295,236	
3 管理費(本部経費)			
役員報酬	2,077,832		
給料手当	2,505,600		
業務委託費	1,590,295		
外注費	0		
法定福利費	1,208,298		
福利厚生費	505,229		
研修費	67,770		
資産運賃	13,390		
通信費	397,671		
広告宣伝費	92,700		
交際費	359,257		
会議費	86,357		
旅費交通費	1,094,046		
消耗品費	370,973		
事務用品費	53,629		
修繕費	107,064		
水道光熱費	11,887		
新聞図書費	36,894		
雑費	211,912		
支払手数料	39,367		
車両費	364,300		
地代家賃	186,900		
リース料	48,354		
保険料	487,330		
租税公課	84,400		
支払報酬料	696,000		
活動費	1,488,389		
物品購入費	0		
減価償却費	372,084		
支払利息	156,483		
雑損失	967	14,725,386	
経常支出合計			199,235,444
消費税	1,531,100		
法人税等	189,380	1,720,480	
当期正味財産増加額(減少額)			1,532,256
前期繰越正味財産額			14,367,601
次期繰越正味財産額			15,899,857

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 23年3月31日現在

特定非営利活動法人札幌・障害者支援活動センター ライフ		(単位:円)	
資産の部		負債及び正味財産の部	
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	8,173,163	買掛金	357,027
売掛金	7,860,841	未払金	20,274,843
未収入金	20,910,020	預り金	530,402
商品・製品・原材料	756,391	前受金	108,900
前渡金	13,930	短期借入金	3,000,000
立替金	24,570	未払法人税等	189,300
前払費用	975,349	未払消費税	1,006,800
仮払金	10,000	流動負債合計	25,467,272
短期貸付金	701,735		
流動資産合計	39,425,999		
2. 固定資産		2. 固定負債	
建物附属設備	4,285,252	建設出資預り金	4,766,645
構築物	92,040	長期借入金	6,440,000
工具器具備品	528,190	固定負債合計	11,206,645
機械装置	5,831,875	負債合計	36,673,917
無形固定資産	0		
車両運搬具	74,596	III 正味財産の部	
敷金	2,293,822	前期繰越正味財産額	14,367,601
出資金	32,000	当期正味財産増加額	1,532,256
差入保証金	10,000	正味財産合計	15,899,857
固定資産合計	13,147,775		
資産合計	52,573,774	負債及び正味財産合計	52,573,774

監査報告書

特定非営利活動法人札幌・障害者支援活動センター ライフ

- 1 平成22年度 事業報告書
- 2 平成22年度 財産目録
- 3 平成22年度 貸借対照表
- 4 平成22年度 収支計算書

上記の書類を監査した結果、いずれも正確にして適法であることを認めます。

平成23年5月24日

監事

佐藤 隆 
鈴木 佐絵 

NPO ライフ親睦会開催!!



in 北海道料理 宮之森
(ジンギスカン食べ放題&飲み放題)



恒例の親睦会開催

きばりや 所長 岡田 悟

総会後は肉を食べる。去年から始まった恒例行事。もちろん今年も5月28日地元西区にある『北海道料理 宮之森』にて、ジンギスカン親睦会を開催しました。

今年は、71名のライフ関係者が集まるという大イベントとなりました。

ひだまりの古株である藤井さんの乾杯に始まり、恒例の抽選大会。追加の景品としてお店からジンギスカンの肉をいただきました。また、人前で話しをする稀な機会に、今年の抱負や仕事の話をする人がいる中、単なるダジャレを言う人や腹話術の一発芸を行なう人もいました。そんな2時間、それぞれがそれぞれの楽しい時間を過ごせたと思います。

同時に今年は、新事業への試みや移転など、大きな転機に向けて強力な協力関係を築くいい機会になったのではないかと思います。

次回開催される時は是非ご参加下さい。

笑顔の仲間が集う懇親会

繭結 所長 佐々木 泰彦

5月28日(土)総会が終わって、午後1時から懇親会が「北海道料理 宮之森」で始まりました。

ライフも全体で100名を超える程デカくなったので、なかなか全体で集まることはできないのですが、年に一度、この時期に去年から行っています。

久しぶりにライフ全体での行事で、障害当事者も職員も楽しく2時間を過ごすことができました。普段あまり食べられない人も楽しく、ワイワイ言いながらジンギスカンを食べていました。去年大好評だった抽選会も、今年もたねやの黒君ときばりやの為井さんのコンビで司会進行をして、「アミーゴ〜アミーゴ」と



賑やかに盛り上げてくれました。今年は宮の森のお店の方から「ジンギスカンの肉」の寄付があり、みんな肉が当たらないかと期待していました。その中、僕自身は「チキンカレー」が当たり、理事がもらってもいいのか…。と思いつつも、我が家で家族と美味しくいただきました。ありがとうございました。

大勢で大変ではありますが、このような行事をこれからも続けていけたらと思っています。

総会&親睦会に参加して

リユースプラザ 館長 森 昭夫

初めて総会に出席をしました。色々な報告の中で、今年度の発寒工房・リユースプラザの活動の重要性に身が引き締まる思いでした。

閉会後は、バスで親睦会場に移動、周りは初めて会う方ばかりでドキドキ、織本理事の側でやっと一安心。周りを見渡すと発寒工房のジョン館長たちも一緒に大いに盛り上がりました。とは言え、勤務中のリユースプラザの職員を考えると少し気が引ける思いもありました。

参加者に自己紹介ができ、環の広がりを感じたこと、皆さんの笑顔が素



緊張を隠せない森館長

敵だったことを職員に伝え次回の総会への参加を勧めました。

○ 総会・懇親会に参加して

元気ジョブ 山野 昌義

5月28日の総会終了後、「北海道料理 宮之森」に於いて懇親会が行われ、ジンギスカンとソフトドリンクを頂きました。

今回のような食べ放題形式だとお酒を飲めない私は損なので、「肉食べまくってやる!!」と意気込んだものの、直ぐ満腹になってしまいました。そう言えば、深澤理事長に注いで頂いたウーロン茶は格別に美味かった様な気が…(笑) グラスを持つ手は緊張で震えていました。

来年はどんな懇親会になるのかと今から期待しています。

○ THE☆ジンギスカン

きばりや 石川 和寛

5月28日、ライフの行事で総会のあとにジンギスカンを食べに行きました。

午前は総会で、午後の3時までジンギスカン食べ放題に出発しました。だいぶ前だったら結構な量を食べてたのに、全然食べることができませんでした。烏龍茶などを飲んでいたからかな?ほとんど野菜を食べていたからなのかもしれない。ビールもあったけど大変なことになるから手を付けなかったです。

最後には去年と同様の抽選会がありました。司会はたねやの黒さんときばりやの為井さんでした。景品にはコーヒーetc…。今回は当たらなかったけど、次回は当たったらいいな。

○ ライフ親睦会に参加して

ひだまり 森 絵津子

私は入社一年目なので、初めてライフの親睦会に参加しました。

初めてお会いするご家族の方や、理事の方々などその人数の多さに少し緊張しました。初めは、傍楽亭のメンバー、スタッフのテーブルで、和気あいあいジンギスカンを食べていました。後半は色々な事業所のメンバーやスタッフが遊びに来てくれて、「いっぱい食べてるかい?」などと声を掛けてくれました。

普段あまり話したことの無いメンバーとゆっくり話すことが出来ました。本当に大勢の方が

集まっていて、ライフは大所帯だけれど、メンバー、スタッフ関係なく一緒に働いていくと言うスタイルはこういうところからきているのだと深く感じた一日でした。

○ ジンギスカンパーティー

ひだまり 石田 程哉

ジンギスカンパーティーでぼくは野菜をたくさん食べました。おにぎりもたくさん食べました。くじでは何も当たりませんでした…。

○ 持ってる男、兎島!

ひだまり 兎島 義秀

5月28日総会で汗をたっぷりかいた後(理由はだれか書くでしょう)、ジンギスカンパーティーに行き、乾杯の練習でジョッキ一杯、乾杯でそくおかわりしました。肉をたらふく食べて、ビールを少々(周りからは大量だと思われるが)飲んだ後、くじで最後の最後に、最高級和牛カルピステーキ400gを当ててしまい、帰り時に「人生の運を使いきったな?」とか



肉を持ってる男、兎島!

「帰り道、気をつけなさいよ?」とか、いろいろ言われましたが、違うんです。おいら、持ってるんです。あはっ!

○ ちょっとした罪悪感?の親睦会

もじや 加藤 信一

総会終了後、ジンギスカンということで、楽しみにしていたのですが、私の場合は肉よりもアルコールのほうが楽しみで、あの昼間の明るい時間に「酒に酔う」という罪悪感がなんともいえないのです。ビールしか飲みませんでした。ピッチャーでつぎ足しで飲んでいましたので、ジョッキにして7~8杯は飲んだでしょうか?夕方3時の記憶が少し無いというのは、ちょっとした「犯罪」かも知れません…。

でも、みんなでワイワイ騒いで、とても楽しいひとときでした。(ここだけの話し:実は私、お医者さんにあまりお酒を飲んではいけないと言われているのですが、目の前にビールが

あったら、そりゃ飲むよ！だって、ダイエットしている女性も、目の前にケーキがあったら食べてしまうでしょ？)

○ 羊肉を食らう !!

もじや 岩崎 佑司

5月の最終週にライフの総会が終わり月日は流れ流れて、6月も終わろうとしている今日この頃…懇親会の感想という事で、この原稿を書いています。思い出そうとしても、これがなかなか思い出せないで、記憶にある限りで書こうと思います。

確かあれは、今にも雨が降りそうな天気の中で懇親会が開催されました。懇親会会場に着き中に入ると、たくさんの仲間が日頃の労をお互いにねぎらいあい、たくさんの笑い声につつまれていました。

ここぞとばかりに食べたり飲んだりした後の余興のお楽しみ抽選会では、自分の持っている運を一生分使い果たすのではないかと思うほど、鳥肌がたったのを覚えています。

だって、景品(レトルトカレー)が当たったから華麗に(笑)。もちろん晩ご飯として美味しく頂きました。

普段話さない仲間と過ごせて楽しい懇親会でした。

○ 楽しかった親睦会

たねや 木原 悟志

去る5月28日に今年度のライフの総会が行われました。僕は総会よりもその後の親睦会(ジンギスカン)の方が楽しみでした(笑)。

総会が終わり、岡田さん率いるキバリヤ軍団と一緒に歩いて行きました。二十四軒と言っていたので元気ジョブの近くだろ！となめていました(汗)。二十四軒のはずれの方で以外と時間がかかってしまいました。



きばりや為井さん(左)と木原さん(右)とたねや岡林さんの足だけムリヤリ参加(手前)のニコニコスリーショット

もじやの岩崎君、繭結の中井さんと一緒に座り、岡田さんの司会で親睦会が始まりました。来賓や各事

業所の紹介のあと一番楽しみな抽選会があり、抽選会ではたねやの山口さんがみごと当たりました。山口さんはすごく喜んでいました。すごく楽しい親睦会でした。

○ ライフの総会と焼肉パーティーと

カラオケと居酒屋で交流会の思い出

もこもこメンバー 西村秀俊

5月28日土曜日に西区民センターでライフの総会をしました。

お昼に歩いて宮の森ガーデンに行って焼肉ジンギスカンを食べま



抽選会で賞品ゲットの西村さん(左)と司会進行のたねや小黑さん(右)

した。宮の森ガーデンのジンギスカンで、もここの久保田さん、つばさの会の山本价則さん、はばたきの清野さん、理事長の深澤さん、市議会議員の大嶋さん、ライフの職員、メンバー、家族会の皆さんと会えてよかったです。

二次会で、今から10年前に行ったまねきねこにカラオケに行きました。三次会で近くの居酒屋に行って食事をしました。ビールとお茶を飲みながらいろんな物を沢山食べれてよかったです。

今回の焼肉宮の森ガーデンの場所が良かったです。昨年行ったアサヒビール白石のロイン亭はまなす館の場所が良かったです。

今年平成23年度21世紀10周年記念御用納め発行日を兼ねて、いろんな行事をしたいと思います。

マンションモモの中に有るライフの事務所の中で全体で集まって職員、メンバー、家族会、理事、お客さんと呼んで全体で集まって持ちよりパーティーと忘年会をするのがだんだん人数が増えて来て場所がせまくなってきたので今年のライフの御用納め発行日忘年会については、職員、メンバー、理事、家族会、お客さんも毎日の給食代で、参加費を集めてアサヒビール白石のロイン亭はまなす館、麒麟ビール園に行って広い場所で大きく広げてやりたいです。二次会で職員とメンバーでカラオケにも行きたいです。

ライフの総会とカラオケと居酒屋で交流会は、とても楽しかったです。



また、ある時は片手の運転手

もじや 早川 玄

4月18日、栃木県でクレーン車の運転手が突然意識不明になり、6人の児童を死亡させる事故を起こした。事故そのものも重大であるが、この運転手が「てんかん」の患者であったことから、私たち障害をもつ運転者全体に過剰な反応があったように感じている。いわく、「障害者やてんかん持ちは、危ないから運転させるな」。

昔、自動車教習所の教官は、「日本では、公道での自動車運転はみんな平等に禁止されている。それを試験に合格することで許可してやろうというのが免許の制度だ。もちろん欠格条項があって、試験を受けることができない人もい。それが不満なら革命でも起こせ」と、高圧的に言った。当時の私は、「てんかん」を含め欠格条項が多い（平等とは程遠い）ことにはなんの疑問も持たなかった。自分には関係のないことだと思っていた。

しかし、2000年に脳梗塞で左手足の自由を失った。自家用車はATだったため当座は右手足だけで運転できたが、免許更新で不合格の心配もあった。手足の不自由さだけではなく、更新書類には「脳の病気の有無」という項目があるからだ。正直に「有」とすると、別室に呼び出されて「生活していて、急に気を失うことは？」と、てんかんの症状について質問される。脳梗塞の後遺症は手足だけだったので、いまも普通免許で運転しているが、更新の度に同じ質問は繰り返されている。

2002年に道交法が改正され、条件付きでてんかんの人でも免許を取得できるようになった。ただし大型や2種の免許取得は事実上不可能らしい。くだんの栃木の運転手はてんかんで

あることを隠して取得したらしい。てんかんは様々なことに差別を受けるため、隠すことはやむを得ない気もする。ただ、今回はその結果が重大すぎた。

日本てんかん協会のホームページには、「加害者は(中略)病気を申告せず、発作も抑制されていなかったとされています。それが事実なら、自動車の運転は認められないにも関わらず運転していたことになり、社会的責任が欠如していると言わざるを得ません。多くのでんかんのある人たちが、治療や生活の自己管理に努力を払い、法律の下、運転免許を取得したり取り消しを受けたりしている中で今回の事故は、極めて遺憾であります」という旨のコメントを出している。「切り捨てたな」とは思ったが、加害者が取得段階で法律を遵守していなかったのなら仕方がないだろう。21世紀になってやっと手に入れた権利なのだ。

昨年三重県で、ある歯科医師がてんかんの発作で踏切事故を起こし(2人死亡)、その弁護士が「てんかんの発作は予測ができない」という主旨の発言をした。この発言は、「発作を予測できないような病人に運転させるな」という論理にもつながり、大変危険なものである。

仲間である障害者には、てんかんの治療をしている人がたくさんいるが、突然発作を起こす人はあまりいない。治療がうまくいっているからだろう。そういう人たちよりも、健常の若者のほうが、ずっと危ない運転をしている。そうでなくても、突然の心臓発作・脳溢血・貧血によるめまいの可能性は誰にでもある。

私は自家用車を「全天候型屋根付原動機式四輪車椅子」と呼んでいる。障害者だからこそ自動車を必要とするのである。てんかんを含めて「障害者だから」という理由で運転する機会を失うような社会にはさせたくない。



第 39 号 2011 年 5 月

麦の穂

題字

NPO法人麦の会 

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1 TEL-FAX(022)
E-mail: muginokai@k5.dion.ne.jp 299-1279
<http://www.web-i.ne.jp/ea0098>

多くの皆さん、ご支援ありがとうございます。

この原稿を4月29日に書いています。楽天も・ペガルタも勝ちました。嶋選手のあいさつには感心します。

本当は3月に麦の穂を発行する予定でした。しかしもちろん3月はそんな状況ではありませんでした。

地震から一月以上が過ぎました。沿岸部ではまだまだひどい状態が続いていますが、仙台市内は落ち着きを取り戻しているようにみえます。

この間、電話やメールなどで、多くの人から、ご連絡をいただきました。カンパもいただいています。本当にありがとうございます。その一つ一つに励まされています。

阪神淡路大震災の時、とんでもないことが起きたと思いました

宮城県沖地震も30年以内に起こると言われていましたが、まさかこんなとんでもないことが起きるとは夢にも思いませんでした。

その時、コッペでは、クッキーの袋詰めを行っていました。

突然の大きな揺れ。いったん収まるかと思われましたが再び大きな揺れ。中々収まらず、本当に長かったんです。机にしがみつくもの、互いに支えあうもの、みんなその場から動けません。いろいろなものが落ちて、棚そのものも倒れました。でも、建物は耐えてくれました。長く長く感じられた時間が過ぎ、やっと揺れが収まり、みんなの無事を確かめました。でも、一面が散乱している。もう、仕事どころではありません。と、一人よっちゃんだけは仕事をしています。自分の決められたことは最後までやらないと済まない性格なのです。感心するやら、あきれやら。倒れた棚のすぐ隣にいたさっちゃんは、ニコニコ顔で「たおれたよ」と一言。全くと思いつつ、そんな姿にみんなの雰囲気がちょっと和んだのでした。

外を見てみると、建物の一部タイルがはがれていたり、エアコンの室外機が倒れていたりしました。でも、大きな揺れの割には、周りには倒壊したような建物はないようでした。

しばらくすると、雪は降ってくるし、サイレンも方々から聞こえてくるし、道路も徐々に渋滞し始めました。

なんとか家が近い人から送って行ったり、迎えが来たり、遠い人はとにかくあわてて動いても仕方がないので、判断付くまで待ってもらうしかありませんでした。

合間を見て、小学生と中学生の子どもを迎えに、自転車で学校へ。体育館にいました。そのまま自宅へ。自宅は倒れずありました。でも、中は、ご想像通り。あっ、テレビ生き残ってる！ダンス倒れてる！でも、コッペに戻らなくては行けないので、お隣に子どもを頼んで、とんぼ返り。途中、車は渋滞、歩道には歩行者があふれていました。

帰宅できる人は何とか 8 時ごろには帰りました。帰りの夜道は、本当に真っ暗で怖いぐらいでしたが、星はきれいでした。

ただ、自宅が損傷したスタッフ 2 名は、この日から 1 週間ほどコッペで避難生活を送りました（一人は引っ越し、もう一人も引っ越さなければなりません）。また、実家が津波で被災された人、原発で避難を余儀なくされた人もいます。誰もがなんらかの形で影響を受けています。

当時、唯一の情報手段となった携帯ラジオからは、「マグニチュード 9！」「沿岸部で壊滅的被害」「荒浜地区で数百人に遺体が」との報道が。電気が復旧しテレビで津波の映像を見るまでは、何が起きているかは、まったく想像できませんでした。

震災直後、大きなスーパーやコンビニなどは大変な人でした。でも、自転車で移動していると、街の小さな八百屋さんや魚屋さんで結構食材を買うことができました。小さな商店街ぐるみで頑張っているところもありました。威勢のいいお店の人の声を聞くと嬉しくなりました。大変なだけけれど、大切なことを思い出させてくれる気もしました。

震災直後は、正直今後も商売ができるのかと思いました。袋詰めが中途半端に終わったクッキーは避難所にもっていきました。在庫のクッキーは店頭で売りました。電気・水が来てからは、残っていた材料でパンを作りました。原材料の在庫も不十分で一日の生産量は多くはできませんでしたが、コッペ始まって以来の行列ができました。しかし 3 月中は、これまでの取引先はほとんどが再開せず、店頭販売だけが頼りでした。公共交通機関の回復もまだ不十分で、障害メンバーは自宅待機にしました。

4 月に入り、取引先も再開するところが増えました。地下鉄がやっと全線開業し、交通の面では正常に近くなりました。みんな元気に通ってきています。また、各地で「復興市」を企画して頂き、県外からの注文も入るようになりました。コッペ以外の事業所の製品も仕入れて各地へ送っています。ありがたいことです。

しかし何より不安なのは、原発です。もう、福島・東北だけの問題ではありません。一刻も早い事態の収束を望みます。宮城にも女川原発があります。なくさなければいけません。再稼働を止めたいです。

今、本当に多くの団体の方が支援に来ています。多くの人に出会います。コッペを立ちあげたころ、大阪に見学に行ってお世話になった K さんにも何十年ぶりにお会いすることができました。本当にうれしいかぎりです。

障害者にも必要な支援を行っていこうと地元の CIL などを中心に動き始め、ゆめ風基金の方も応援にかけつけて、被災地障害者センターみやぎを立ち上げています。福島・岩手にもセンターが立ち上がっています。

手さぐり状態の中ですが、再生への道は間違いなく始まっています。

長い道のりになると思いますが、これからもよろしくお願いします。

特定非営利活動法人 麦の会 コッペ
代表 飯嶋 茂

※ 麦の会からお礼の文章をいただきましたのでご紹介させていただきました。

札幌市リユースプラザ 厚別リサイクルセンター

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒15条14丁目2-30
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



<http://www.reuseplaza.jp/>

中庸 (balance)

発寒工房館長 ジョン ウルク

職員研修を通して事業への理解を深めるため、今回は3か所の研修、見学を行いました。

まず、5月22日にリユースプラザの主催で行なわれた「自転車安全点検講座」に工房の2名が札幌市民と共に参加し、自転車を安全に使うコツや不具合があった際の修理等を学びました。

そして、6月7日は新人を含めた職員4人が同じくリユースプラザ主催の「札幌市ゴミ減量講座」に参加し、札幌市のゴミ減量、リサイクルについての取り組みの現状を具体的な数字や資料を通じ理解を深めました。

また、6月15日にはリサイクルプラザ宮の沢主催で行った「ゴミ処理施設見学会」に職員3名が参加し札幌市の廃棄物処理施設を巡り市内から排出されたゴミや下水等の処理と再生方法について学びました。今回の研修では職場以外の環境事業に対する理解を深め、更に自分自身の仕事に対して誇りを持って行ける機会となり、またこのような機会を増やしたいと思います。



野外での講座



ごみ処理施設見学会

— 白石清掃工場について —

関 隆宏

ごみをくれーんでつりあげてうつしかえしているところがとってもみごたえがありました。

あとは、はいきや、ぶんべつをしてばめんで、もやすしゅうかんを、とれててとてもよいと思います。



工場見学

下水道科学館は、じょじょににおいからよごれをおとしながらきれいにしてゆき、川にながしてゆくことがべんきょうになりました。

事で、必ずルールを守らなくてはと思いました。

最後のまとめにあった「なぜごみ減量・リサイクルをするの？」の答えの「税金を節約するため・快適な生活環境のため・将来の地球のため」と言うのを常に考え、これからもっとリサイクルに積極的に行動したいと思います。

DVDの中にクイズもあり、楽しめる内容でした。



自転車安全点検講座に参加して

寺野下 利幸

昨年、「平成22年」は経費の関係上私が「講師」を務めました。終了してから、これで良かったのか、肝心の事が抜けていなかったのか等々初めての経験でしたので心配でした。今回も声が掛かりましたが、一度はプロの講義を聴いて参考にしたいと思い、講座を受けさせて頂きました。

今回の一般の受講者は、この部分を直すのに、自転車屋さんで直した場合の価格はいくら、等々の質問も多くあり、プロでなければわからない事が沢山ありました。

どの方も簡単な修理は自分でやろうと真剣で、大変素晴らしい講座だと思いました。



ごみ減量講座に参加して

大久保 宏美

ごみ有料化により、毎年ごみの量が減少している事がわかりました。あと、資源物はリサイクルの工場に運ばれた後、手作業で分別しているとの

リユースプラザイベント

イベント名	実施日	福祉バザー		飲食バザー・屋台販売・屋外関連	ゲーム	体験コーナー	その他参加者
		手づくり品販売	食品販売				
「まつりだ・環っ」	6月26日 (日)	*NPO法人 地域生活きたのセンター ぱお(パン・クッキー・ハチミツなど) *わーくひまわり (EMボカシ・コーヒー豆・石けん)		/	/	廃材を使った ストラップ (先着40名)	*札幌消費者協会 (おもちゃのばぐりっこ・紙芝居・分別ゲー ム) *「札幌菜の花ものがたり」掲示物、展 示物
ごみ減量イベント	10時～15時	環境体験・展示コーナー・札幌消費者協会「おもちゃのばぐりっこコーナー」紙芝居・ごみ分別ゲーム えこひまわり・生ごみ減量展示とEMボカシの 販売 札幌市「札幌菜の花ものがたり」展示コーナー 福祉バザー リユース家具の即売					
ともども夏祭り	7月23日 (土)	ともどもネットの参加 *福祉作業所の物販		ともどもネットの参加 *屋台で食品販売など	内容未定	内容未定	*発寒工房提供家具(リサイクルプラ ザ宮の沢より引き下げ家具フェア)予 定
にぎわい創出事業	10時～15時						
ともども夏祭り 福祉バザー、屋台による物販、ステージイベントなど							
文化祭	9月4日 (日)	未定		未定	/	内容未定	*厚別区ヴァイオリン子ども教室の発 表・マジック・バルーンアート *札幌消費者協会 (おもちゃのばぐりっこ・カルタなど) *市民公募のフリーマーケット
にぎわい創出事業	10時～15時						
文化祭 ステージ部門							
収穫祭	10月8・9日 (土・日)	ともどもネットの参加 *福祉作業所の物販		ともどもネットの参加による *野菜の販売 *屋台で食品販売	内容未定	内容未定	
にぎわい創出事業	10時～15時						
収穫祭 野菜の販売・屋台など							
フリーマーケット	3月中頃	未定		/	/	開催未定	*フリマ市民公募 *発寒工房よりアンティーク家具コー ナー 開催予定
ごみ減量イベント							

社会的事業所集団
はたらくてい
傍楽亭

アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市西区二十四軒4条6丁目 5-32
テラ二十四軒 1 F

TEL (011) 633-6666
FAX (011) 644-0088



エフピコ愛パック(株)石狩工場見学会に参加 所長 織本 義昭

6月21日、中小企業家同友会の障害者委員会主催エフピコ愛パック(株)石狩工場の見学会に参加してきました。

「エフピコ」は、スーパーなどでよく見られる食品トレーを製造しており、使用済みトレーを回収し再びトレーとするエコ・トレーに力をいれており、年間売上高1250億円の会社。全国で667名の障害者を雇用し、営利法人としては日本初の就労継続支援A型の事業者認定を受けている。

石狩工場では、発泡スチロールの弁当箱の組み立て、選別センターでは色や汚れによる使用済みトレーの選別と合わせて15名の障害者が働いていました。案内してくれた伊丹社長によると、同社では障害者が中心となって作業し、職員はあくまで手伝いや仕事の最終確認をしているようです。仕事のマニュアルをわかりやすいように工夫さえしておけば、障害者は真面目にしっかりと仕事ができていると評価。障害の重い人からできるだけ採用するようにしていると言う話があり、ただ感嘆。とてもキレイな工場でキビキビ働いている障害者の姿が印象的でした。使用済みト



エフピコ愛パック石狩工場

レーの回収が進めば進むほど障害者の雇用が増やせるようなので皆さん家庭で使用したトレーはリサイクルへ。

札幌市障がい福祉課との震災に関する懇談会 大加瀬 敦

去る6月15日(水)、札幌市の障がい福祉課からの呼び掛けで、東日本大震災に関する懇談会が開かれました。

障がい福祉課在宅福祉係・運営指導係などから4名、朔風の森本氏の呼びかけにより先日のクリスチャンセンターで報告したHOPの竹田代表、この実会の郡氏、ライフの大加瀬の計8名が集ま

りました。

懇談会は障害者の生活の場として避難所は？という問いかけからスタートし、市側からの質問に対して返答していく形で進行。報告会の内容と大半は同じですが、それ以外の部分を要約し紹介します。

Q. 障害者の大半は福祉避難所にいるのか？

A. 大部分はそうだが、身体障害者に関しては福祉避難所に家族が入れないことがネックになっている。(竹田氏)

Q. 事業所監査に廻る際に何か出来る事はないか？

A. はまなす園の例にもあるが、緊急時の判断が非常に重要。今回は時間帯が日中だったため救われた部分も大きい。(森本氏)

指定避難所ではない学校等が、申請を出していない為支援物資を受け取れなかった事例有。(大加瀬)

他、参加者からの意見

森本氏：福祉施設は社会的資源という認識を持つことが必要。同時に行政も資源として情報を把握、非常時には活用できる体制作りが必要なのではないか。

朔風の施設にある地下水くみ上げ機能、自家発電機能など、地域の施設が協力することで避難所として活用できる。全区に必ずある福祉施設などを緊急時に利用できる環境作り。地域単位での事業所間の協力体制を作っておきたい。

竹田氏：被災地の事業所でも、日中は浮いている車両などが多くある。緊急時に活用できるシステム構築はできないだろうか。支援側と、被災者側での情報のマッチングが上手くいっていなかった。札幌市の災害情報掲示板の様な物が必要ではないか。福島では障害者・高齢者を置いてホームヘルパーが避難し、取り残されたケースが多数あった。今は避難勧告が解除されているが、戻ってても不安はぬぐえていない。福祉サービスのモラルが問われるのではないか。

今回の懇談会が、すぐに具体的な動きに繋がるとは思いませんが、行政のこれからの活動に役立っていく事を期待しています。

共働サービスたねや

〒 063-0812

札幌市西区琴似 2 条 5 丁目 3-5

マンション MOMO 1 F

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

仕事のこと

宮澤 智成

僕は、帯をきつく締めて、テープを丁寧にまちがわないようにしっかりとテープで固定しました。

あとは僕がはじめてやる、福祉系専門学校を順番にならべる仕事がむずかしく見えました。僕の頭が真っ白になってしまいました。

僕が楽しい仕事はシールはりの仕事とお



仕事をコツコツがんばる宮澤さんつけもの袋の仕事です。

また、新しい仕事が入っても僕はガンバリマス！僕はたねやを続行して、みんなと仲良くして行きたいです。

初夏の風

寺嶋 峰子

今年の6月は肌寒い日が多く夏が遠く感じられます。

また、養護学校の生徒さん達が見学に来られることが多い月でもあります。

今も、実習生がみんなと仕事をしています。一週間という短い間ですが、若い風がふいて、元気な力をもらっています。

清掃業務に参加して！

高橋 洋幸

4月中頃から、清掃の方に入り、曙コミュニティセンターやインテル（長靴工場）の清掃をやっています。

曙では階段等をやっています。インテル（長靴工場）で



仕事でひと汗かいてさわやかな高橋さん少し増えて、男子更衣室で床の汚れている所を歯ブラシ等で、汚れを落としています。まだまだやり方を覚えていって、仕事をがんばっていきたいと思っています。

第20回よさこいを終えて(動夢舞^{どんまい}としては15周年)

岡林 満美

今年のパレード直前まで、二列目でのんびり出来ると思ったのに、本番では振り付けの竹花先生とトップで踊る事になり、ぶっつけ本番“よく頑張ったな”と思います。52歳にして…！年なのにね！！



写真：もじやの永島さん(車イス前から二人目)

そのパレードでは1回目の演舞の時(全部で5回踊ります)音楽出なかったのですが、みんな音楽無しでも踊り続け、観客の皆さんの手拍子に勇気づけられるという、ハプニング。動夢舞^{どんまい}らしくどんな事にもめげないメンバーの一員で居られたことに良かったな、と感じました。

打ち上げ、二次会では楽しく飲み美味しかった！お酒大好きな岡林だしね。

札幌市障がい者協働事業
共働事業所

・製本作業
・ポストインク
・DM発送作業
・その他の軽作業

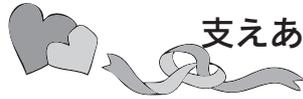
きばりや

共働事業所 **きばりや**

〒063-0061 札幌市西区西町北7丁目1-5 斎藤ビル1F
TEL:(011)669-3810 FAX:(011)669-3808

Cafe de **キバリヤ** 

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX : (011)758-6533

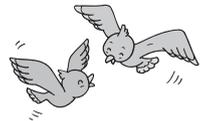


支えあいの気持ちを…

所長 岡田 悟

非常に私的な話になってしまいますが、今月に入りライフに就職して6年が過ぎました。あつという間といえばあつという間でしたが、その間に多くの人に出会い、その支えの中で今に至っています。

さてさてそんな私ですが、先日東北へ行ってきました。陸前高田や石巻、亶理などニュースで何度も映し出されていた場所をまわってきましたが、テレビで観る2Dの衝撃以上に現場で見るものはショッキングなものでした。実際、被災した現場の障害者事業所を何箇所か訪問しましたが、現地に足を運ぶだけでも涙が出てくるという言葉に対し、私はどんな言葉を発することができるのでしょうか？まだまだ人間としての未熟さを感じました。そんな中でも、お金の分配の問題。被災者の就職の問題。仮設住宅の状況。福祉サービスの認識の薄さ。など多くのことを感じ考えることとなりました。そして何より今こそ支え合いだと感じています。一人一人できることをできる範囲で行なっていくことで、長期的な支えとなればと思います。1年後も2年後もみなさんと同じ気持ちで支援を行なっていることを願っています。



仕事について

真光 和徳

きばりやの仕事はいつもの通りに帯にタックシールを貼って、通信の折と帯止めと製本の仕事がありました。あと、伊与部さんのポストインクもしています。

なったとしたら、どこへ行けばいいか考えてしまうと思います。

これから、被災地は元に戻るまでかかるか分からないので、頑張ってください。

本当に今回4人の報告を聴いてよかった。被災地のことが前よりも考えることができたからです。私は今まで地震を経験したことはあるけど、家がなくなったことを考えると大変。

東北大震災報告会に行つて

織本 亜哉子

去る、6月3日にクリスチャンセンターに東日本大震災報告会に行きました。

東北の被災地にボランティアで仕事に行った人、4人の報告がありました。前、自分が考えていた時より、今回もう一度、4人が報告したことを聞いて、本当に被災地の障害者は大変なんだなあ、私も札幌であんな大きな地震がきたら、大変ではないかな、健常者と障害者の人たちは一緒に過ごすことができないことがある。障害者は場所が自分の家と違うので、大変なんだと思います。私も地震が起きて、ずっと避難所で過ごさなきゃいけないということになったら、私も今いる障害者の人と同じような感じになると思います。

本当に大きな地震が起きると身体障害者や知的障害者は大変、障害者施設が津波で大変になっている映像をみて、どこで過ごしていけばいいんだろうと思ってしまいました。私も過ごす家がなくな

最近の私…

鈴木 昭子

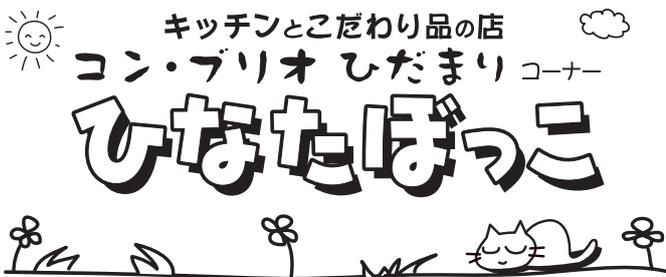
少しずつ外も夏らしくなり、いよいよ冷たいものが顔を出しはじめ、そろそろ夏本番の季節がやってきたなと感じています。

カフェでも飲みものをはじめ大福なども出はじめていて、仕事をしていると、「今年もこの季節が来たか〜!!」と思うようになりました。

最近、少しずつではありますが、常連さんやお部屋を利用する方々やエルプラザの下の職員さんなど、また新たなお客様が利用していただいているのでとても嬉しいです。

夏の暑さには弱い私ですが、これからも元気に働きたいと日々つくづく感じているところです。





コン・ブリオひだまり TEL(011)615-4131
 西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F
ひだまり配送センター TEL(011)613-0611
 西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F
 コン・ブリオひだまりに配送センターができました。

コン・ブリオひだまり&ひだまり配送センター所長の黄昏独り言…(笑)

永田 陽子

暑くなったり寒くなったり…気温の変化についていけない私って、年齢のせいという声が聴こえてきそうですが、この際無視します！ひだまりにも暑い夏がやってきそうです。

キッチンではこれからの季節、厨房の中も暑いので、お弁当を昼までに作るという時間との戦いの他に、暑さとの戦いも始まります。水分補給をしっかりとって美味しいお弁当を作ってほしいです。

また、出張販売組ですが、こちらは一見「暑さには関係ないじゃないか！」と思われそうですが、移動中の車の中も含め、一つの出張販売に1時間半ほどかかる時もあります。この時期に水分補給しないで過ごすと、声がガラガラになり、のどが張り付く感じがするそうです。ここでもやっぱり水分補給は大切。

これからの季節は屋内外問わず、水分が大切になってきますので、みなさんもお身体を大事にしつつ、美味しいものを召し上がってください。それがひだまりのお弁当であったり、取り扱い商品であったりすると大変嬉しく思う所長なのでしたあ。

メンバーの一言

高橋 繁広

北海道もあつい日々がつづいて「夏ですね」ときせつかんをかんじます。あつさのおかげで虫達も活発にうごいています。

あけぼの清掃 藤井 孝雄

毎週火曜日にあけぼの清掃で、センターの3階～2階のトイレ掃除をしてそのあとに体育館へ掃除をします。

キッチンニュース！！

毎週金曜日に夜の営業を試験的に行っています。メニューも徐々にではありますが決まりつつあります。今後ともコン・ブリオひだまりをご愛顧くださいますようお願いいたします。

メンバー&スタッフ心よりお待ちしております。1日も早くグランドオープン出来るように努力します。

復興市！！
 まだまだ支援の輪を広げて下さい！！

宮城の事業所が作ったクオリティの高い商品を取り扱っております。
 また、近日中には岩手県の仲間が作った商品が手に入ります！乞うご期待！

200円

はらから福祉会さんの 贅沢仕上げ **豆乳花**
 まるごと100%天然素材。宮城県産ミヤギシロメ大豆使用
 手軽で簡単。押し出して食べる、新タイプの豆乳デザート。素材にこだわるお豆腐屋さんが、宮城県産大豆だけで作りました。

新しい仲間を募集しています。

ひだまりでは一緒に働いてくれるメンバーさんを募集中！
 我こそはと思う方はご連絡ください。みんなで楽しく販売をしましょう！

長崎島原名産 **蔵田本格手延べ**
島原手延 そうめん
 ひやむぎ
好評販売中

ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

ゆい
繭結



ヘルパーと郊外に出よう

繭結管理者 笠井 衛二

爽やかな季節の北海道。遠くまでのドライブも気持ちがいい。そこで北海道の名勝や絶景スポットを紹介したい。

まず今、6月の見ごろは支笏湖である。支笏湖といえば語源はアイヌ語だが、透明度が高く湖水に沈む樹木が骨に見えるため死骨湖と昔は標記されたが、あまりにも不気味と現在の支笏湖となった経緯がある。湖に落ちると死体は上がらない、沈んだ樹木を彷徨う霊が湖水に人を誘う、とかの言い伝えにはなんら根拠はない。けれど、靈魂に根拠を求めるのに無理がある。

支笏湖は周囲約40*。周回はできないが、ほぼ湖の縁を走ることができる。車であれば札幌から435号線を約1時間で支笏湖のポロピナイ野営場に着くが、その手前を右に入るとオコタンペ湖というエメラルドのような湖に出会える。

近くまでは行けず、道路上から見分するだけだが、いまは駐車場を整備しており、安全に楽しめる。この道はオコタン湯(廃湯)で行き止まりだが、途中の景観が穴場中の穴場。恵庭岳の裏側をすごい迫力で楽しめる。この恵庭岳、ポロピナイ湖畔から登山道が始まるが、ゆったりとしたアプローチはなく突然の急坂。そのまま3時間、足腰も根性も疲れきる行程。けれど山頂の眺望は素晴らしい。遠くは千歳苦小牧が展望でき、その周囲は新緑で埋まり、その上を風が流れ、眼下のオコタンペ湖がきらりと光る。山やの至福の時間である。だが下山も消耗、急坂に耐えきれず足が震え足が笑い足が泣く、足のオールスターだ。

ルート276号、ポロピナイから湖畔を抜けモーラップキャンプ場の途中、左に曲がり道道141号の樽前錦岡線を遡上。途中樽前登山口の標識に沿い約15分で樽前ヒュッテに到着。ここで車を止め、小屋の横から樽前登山道をほんの5分登り振り返ると、ほら絶景が！

私はこの景色は、苦勞しないで行ける絶景、道内ベスト5に入ると確信している。眼に広がる山々のすそ野、列をなしたり不揃いに並んだ

りの様々な緑、寄り添い孤立し影となる木々、鳥や獣の吐息や笑いや囁きが醸す森のざわめき、それらを慈しみながら見守っている支笏湖。

その大きな空と深い森と笑みを湛えた支笏湖が一体となり、また風の色、揺れる小枝、きらめく波のそれぞれが凛とし、幾重もの風景になって自然が語りかけてくる。置かれたベンチに身を預け、遮るものがない目の前の風景に、自然の躍動と太古から続く時の造形をゆっくりと堪能してほしい。

276を美笛に向けて走る。途中「苔の同門」があり名所であるが、昔は風不死岳の登山ルートとして山やの常識だったのでパスし、美笛キャンプ場に向かう。

キャンプ場は湖畔に面しているが、その裏手の巨木の森が素晴らしい。ミズナラやカツラの樹齢300年以上の巨木が、捻じれあいもたれあい大地に鎮座している。対岸にある温泉街の植林樹は数年前の風台風で大打撃をうけたが、この巨木はしっかりと生き延び、都会っ子と育ちの違いを証明した。ここで生きることの何かをしっかりと学びたいものだ。

ここから276に戻り美笛峠を抜けるのだが、見所はたくさん。美笛の滝だが、そうね滝だよね程度。それより美笛峠の手前から冬笛、秋笛、夏笛、春笛と続く橋の名称に感動してほしい。

峠を過ぎるとフォーレスト大滝の道の駅。なぜかトイレの前にある自動演奏のグランドピアノが自慢。きのこ王国が隣に移転し、いまは昔のざわめきはなく、ピアノの音色が昔日の深い思い出を映す。

郊外に出よう、季節は今、仲間と家族とヘルパーと。

繭結のヘルパーは、支笏湖周辺と、人生近隣のガイドが得意です。



樽前山を望む支笏湖

共働事業所 もじや

〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOMO 1F
TEL (011)644-5533 FAX (011)613-9323
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理

障害者用共通ウイズユーザーカード事情

南條 恭彦

私は年に2回、札幌市から障害者用の共通ウイズユーザーカードの支給を受けています。

私の場合、年間48,000円分支給されているので、年間を通して利用する金額としては非常に助かります。主に通勤に使用しているのですが、年間の交通費の3分の1をまかなうことができます。収入の少ない障害者への現物支給制度として、現実味を帯びたニーズにふさわしい制度だと思えます。

しかし最近、このウイズユーザーカードを不正に利用する人がいるということが新聞やニュースで伝えられています。

その手口というのは、障害者が受給した共通ウイズユーザーカードを金券ショップに売り、お金の換金するというものです。

共通ウイズユーザーカードは市の税金が使われています。この制度を自分で勝手に破りお金と交換するという凶々しさに非常に腹立たしいものを感じます。

このカードは身体にハンディがあって収入の少ない人たちに対して支給される、いわば福祉目的の制度なのに不正利用が後をたたないのは、まじめに利用している人たちからすれば、この制度が廃止されるのではないかと懸念する人も大勢でてくると思えます。

ちょっとした行為がこの制度の存続に悪影響を及ぼさないように、障害者1人ひとりのモラルが何よりも第一に大切なことと、行政の側も不正行為を防止する措置が、今後必要になると思えます。

そしてそれがまじめに利用する人たちにとって安心できる制度として確立されるものと思えます。



信也の夏休み

平田 信也

5月26日～6月9日まで、東京の荒川区に家族で妹の所へ遊びに行きました。

着いた日から3日ぐらい天気が悪くて、どこにも行けませんでした。

5月31日は天気が良くて、甥っ子の運動会があったので、家族で応援に行きました。運動会の成績は、甥っ子たちの白組が負け



て残念な結果になりましたが、甥っ子たちのがんばっている玉入れ競技をみて、感激しました。

まだ工事をしていますが、スカイツリーを見に行ってきました。真下から見たのですが、さすがに高かったです。首が痛くなりました。

原稿の難しさ

渡邊 重治

きばりやからもじやにきて、7月で1年になります。この1年お客様から預かった、いろいろな内容の原稿を、パソコンで文字を打つ仕事をしましたが、達筆で書かれた字、特に漢字が読みづらくて困ることが多いです。自分で書いた字を、読めるのかなと思うほど、凄い達筆な字(原稿)があります。文字と文字の間に、てんもまるも書かれてない文書があり、そのままてんをつけずに文を続けていいのかどうか、それと原稿の漢字を直していいのかなどがあります。でも一緒に仕事をしている人が、達筆な文字が読めて、なぜこの字が読めるのかなと思うことがあります。その人はいろいろなことを知ってる物知りな人なので、とても助かっています。

おじさんの思い

スカイツリーは来年の5月22日、開業予定だそうです。634mと世界一の高さらしいのですがLEDでライトアップするというエコな電波塔です。 by sin



①ひやむぎ・麦作
化粧箱・1500g詰 (150g×10束)
包装外寸=297×240×39mm
標準小売価格 1個 ~~3,675円~~
2,550 円



②そうめん・夏ごごろ
化粧箱・1800g詰 (50g×36束)
包装外寸=318×220×42mm
標準小売価格 1個 ~~4,200円~~
2,800 円



③そうめん・細糸の舞
木箱・2000g詰 (50g×40束)
包装外寸=335×210×47mm
標準小売価格 1個 ~~5,250円~~
3,500 円

長崎島原名産

蔵田本格手延べ

島原手延そうめん

ひやむぎ

伝統の味わいを心ゆくまで
お楽しみ下さい。

「細さ」
「舌ざわり」
「こし」



製造元
島原手延素麺協同組合

発売元
NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOM01Fライフ事務局
TEL (011) 614-1873
FAX (011) 613-9323

島原の手延そうめんは、全国の生産量の約三割を占め、現在では、全国のデパートで夏の売れ筋商品として、発売されております。

私共の商品は、三六〇年に及ぶ島原の手づくり技術の粋をつくしたものでございます。

食すれば口の中で舞うがごとく、のど元を流れ、舌ざわり、こし、のどの通り、どれをとりますしても、ご満足頂けるものと存じます。

又、味付け、調理法とも工夫次第で色々なおいしさが発見できます。

暑い夏、島原の手延そうめんを食べて、すっきりさわやかなひと時をお過ごし下さい。

長い伝統と独特の技術で製造されました島原手延そうめんは、ご家庭で、また、ご贈答品としては最適と存じます。

《おいしいゆで方》

①そうめん

多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。
ゆで時間は2分程が標準です。
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早目にお召し上がり下さい。

②ひやむぎ

多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。
ゆで時間は4分程が標準です。火を止め、3分程むらします。
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早目にお召し上がり下さい。

商品注文書

No.

※取り扱い事業所
 NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
共働サービス たねや
 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5
 マンションMOMO 102
 TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

- 商品番号は左頁を参照して、お申し込み下さい。
- 住所・氏名の難しい漢字には、フリガナをお願いいたします。
- 郵便番号・電話番号（市外局番含む）は、必ず記入して下さい。

FAX(011)613-9323

品名	値段	個数	金額	備考
① ひやむぎ・麦作	2,550円	個	円	
② 夏ごころ	2,800円	個	円	
③ 細糸の舞	3,500円	個	円	
	合計個数	個	合計金額 円	総合計金額
	送料		円	円

◎電話・FAXにてお受けしています。

申込者	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		FAX	
お届け先①	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	
お届け先②	住所	〒		
	フリガナ	-----		
	名前			
	電話		商品番号	
お支払い方法（番号を○で囲んでください）				
1. 現金（代引はお取り扱いしておりません） 2. 郵便振替／02710-4-63485 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ				

※お支払い方法をお忘れなくご記入下さい。 ※「郵便振替」の際は、「そうめん代」等とお書き下さい。

- ※全て消費税込みの金額となっております。
- ※送料は、市内・道内は5個まで1件につき500円、道外は1000円負担になりますのでご了承ください。6個以上は5個毎に200円の追加料金がかかります。（離島・沖縄は実費送料必要です）

私のオススメ

ありかわ ひろ
有川 浩 著 「県庁おもてなし課」

ライフ理事 我妻 武

5月中旬に体調を崩して療養していた際に、友人からお見舞いでいただいた本が面白かったので紹介したい。

作者は若い読者に人気の作家で、これまで書かれたいくつもの作品が映画やドラマになっている。私はドラマで「フリーター、家を買う。」を見ていたが、コミカルな中にも実に地域社会で抱える問題が織り込まれており、ついつい見入ってしまうドラマだった。

この本もコミカルだが、面白い材料（役所の縦割り問題や街おこし等）が隠されていた。ただ、本のカバーが非常にカラフルなアニメ風で、おじさんである私は少し腰が引けたが、読み始めると面白さに引きつけられた。

ストーリーは、20年前に高知県庁でパンダ誘致を唱え、高知県のイメージと観光客の集客アップを唱えたが、様々な縦割りや軋轢から県

庁を去った男の話から始まる。その後、県庁では「おもてなし課」ができ、若い職員がかつてパンダ誘致を唱えた職員と出会い、高知県をどう変えていくかという話。

ここまで読んで「県庁の星」が浮かんだあなたは凄い。

でも、この本はもっと面白い。場面が浮かぶようで、私はあっという間に読んでしまった。

たぶんこれもドラマになるのだろう。

発行：角川書店
定価：1,600円



〇〇 ご協力ありがとうございます 〇〇

寄付金

南 喜子様
山本 哲生様
安達 まさ子様

賛同会費

横路 由美子様

維持会費

峰崎 生子様

アドボケ購読料

山本 哲生様 南 喜子様
鍋山 若子様 定居 美稚子様
中村 広光様
企業組合 ウェルフェアグループ様

編集後記

遅々として進まぬ仕事に、時として全てを投げ出して旅に出たいと思うことがある。煩しい他人との関係も断って、私自身の存在も消し去り、誰も知らない場所へ行けたならと思う時がある。レイモンド・チャンドラーは「男はタフでなければ生きていけない。優しくなければ生きる資格がない」と言ったが、打たれ弱い私には、この言葉は心に響かない。安酒をあおりながら、日々浅いねむりの中で疲れをいやし、コドクな戦士は今日も、いつ終わるとも知れない戦場におもむくのである。できる事ならば、タフで心優しき戦士タケさん、早く戦いの場へ戻って来ておくれ。（ヨシ）

アドボケイト 水無月号(第127号)

2011年6月10日発行(毎月10日発行) 通巻第471号

HSK通信1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

T063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

事務局長 我妻 武

T063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-614-1873 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485